

若洲海浜公園

事業計画書

若洲シーサイドパークグループ

収支計画

(ゴルフリンクス・海釣り施設・関連園地)

(単位 千円)

事業年度	金額(納付金)	備考
18年度	220,000	
19年度	220,000	
20年度	220,000	
21年度	220,000	
22年度	220,000	
23年度	220,000	
24年度	220,000	
年度計	1,540,000	

支出計画

(ヨット訓練所)

(単位 千円)

事業年度	金額	備考
18年度	57,316	
19年度	57,316	
20年度	57,316	
21年度	57,316	
22年度	57,316	
23年度	57,316	
24年度	57,316	
年度計	401,212	

Ⅲ 事業計画

【1 管理運営に関する基本的事項】

(1) 対象施設を管理するに当たって、指定管理者の役割を踏まえた上で貴団体の基本的な考え方と視点を示してください。

①東京都の代行者として公平、公正、信頼性のある管理運営

指定管理者には、公園利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスを提供し、効果的・効率的な管理運営を行うという重要な役割があります。当グループは、以下の3点を柱に対象施設を管理します。

- ・優れた事業企画力と鋭敏な経営感覚の発揮
- ・「おもてなしの心」をもった高品質なサービスの提供と効果的・効率的な管理運営
- ・東京都の代行者として法令等を遵守した、公平、公正、信頼性の高い管理運営

②若洲海浜公園の管理運営の基本的な考え方

当グループは、「東京の海を都民の手に取り戻す」という海上公園の役割を理解し、貴重な環境を保全し、海とみどりの資源を都民が最大限に活用しながら、次世代に残していくことが重要と考えます。

若洲海浜公園は、海や自然とふれあい、スポーツやレクリエーションを楽しむための場として、海辺の散策、海釣り、ヨット、キャンプ、サイクリング、ゴルフ等が楽しめる公園です。これらの施設が持つ魅力を十二分に発揮できるよう、グループ構成メンバーの人材やノウハウを生かし、それぞれのスポーツ、レクリエーション施設における利用の底辺拡大に努め、資源を最大限に活用した事業展開を行います。

③若洲海浜公園の管理運営の視点

◆若洲海浜公園の価値をより高める管理運営

広範な都民のニーズに応え、異なったスポーツ・レクリエーション施設の特性を活かした創意あるサービスの提供を行うため、以下のように特性にあった目標を定めます。また、「楽しかった！また来たい！」と感ぜてもらえるように満足度の高い、魅力溢れる公園を目指します。

若洲ゴルフリンクス	ベテラン支配人による強力なマネジメント体制により、コースコンディションの向上と、予約時から精算まで「おもてなしの心」をもって質の高いサービスを提供します。また、様々なノウハウを投入し、効率的かつ効果的な管理運営を行い、ゴルフリンクスの社会的評価のランクアップを図ります。
ヨット訓練所	基礎から競技レベルまでの帆走技術を習得できる「都内唯一」の場として管理運営していきます。また、ヨット教室の拡充と合わせ、他の幅広いプログラム等も展開し、多くの都民が海洋レクリエーションを楽しめるよう管理運営を行っていきます。
海釣り施設や関連園地	点検や巡回による適切な利用指導・調整と、荒天時の迅速な対応による利用者の安全確保を第一とした管理運営を行います。また、海の生き物や海辺の自然とのふれあいを通じて、都民が東京湾の自然とより一層親しめるような工夫をします。

◆都民が安心して快適に利用できる管理運営

海に隣接して、異なるスポーツ・レクリエーション施設が立地するという当公園の特性に配慮して、常に「安全・安心」の取り組みを行います。東京都に準拠した各種基準等の適用により、施設を維持保全することはもちろん、特に海域や海際の施設の安全性を確保するとともに、防犯や自然災害対応の視点にも配慮して、若洲海浜公園での快適なレクリエーション活動を提供します。

(2) 若洲海浜公園管理運営方針に掲げるゴルフリンクスの運営目標を最大限展開するための基本的考え方について、現状を踏まえて記載してください。

■当グループが認識する若洲ゴルフリンクスの現状

◆コース現況と、WEBサイトの利用者の意見等から、以下の課題があると認識している。

- ・ゴミ(埋立)地盤特有の地盤沈下により、フェアウェイ等の表面形状が変化し、フェアウェイの表面排水の不良箇所が発生している。
- ・土壌固結による不透水層の発生や、砂質の変化により、芝の育成不良や雑草の混入、病害や排水不良を招いている。また、ティフトン芝を始めとする異草種の混入も見られる。
- ・円滑なプレー進行に対するニーズが強い。(昼食時の待ち時間が長い、プレー進行が滞る等)
- ・スタッフの接客・接遇や、キャディの接客・技術等のサービス品質が一定でないことや、待ち時間が長い等の意見もあり、利用料金への不満につながっている。
- ・園地周辺における打球事故の防止対策が図られているが、なお、いっそうの取り組みが望ましい。

■当グループの持つノウハウにより、運営目標を最大限展開するための6つのポイント

①コースクオリティの追及とハイレベルなコンディションの維持

◆コースコンディションの改善→実施事項

- ・芝生や樹木の生育状況と育成環境の科学的分析(物理的・化学的)によるコース管理の実践。
- ・20年以上のコース管理経験を持つ有資格者(芝草管理・造園管理技術)をキーパーとして配置。
- ・フェアウェイの暗渠排水工事と地盤沈下対策としてのコース改修。

◆コースクオリティの向上→提案事項

- ・現状でも一定の水準を満たしているが、グリーンの全面的改造(床砂・面積・傾斜)が望ましい。なお、その場合には、利用者の便宜を優先し、臨時グリーンを設置して、工事期間は4年間とする。
- ・樹木の間引き伐採や追加植栽により、樹木景観を見直し、また戦略性を向上させる。
- ・安全性を確保する(ホールデザインの見直し・防球ネット等)。

②プレースタイルの社会的ニーズへの対応

- ・キャディ付電動カートスタイルを原則とするが、社会的ニーズに応えるため、セルフプレー等への取り組みも行う。また、セルフプレー時には、コースマーシャル等を導入し、安全対策に万全を期す。

③プレー環境の満足度向上

- ・1日の最大受け入れ組数を原則52組とし、また、昼食の待ち時間は60分以内とする。
- ・キャディスキルを向上させ、コースマーシャルを導入し、プレー進行の円滑化を実現する。
- ・全スタッフがタイムテーブルや進行状況等の情報を共有化し、適宜利用者への情報提供を行う。

④直接サービスの品質向上

- ・スタッフ教育を徹底し、予約から精算まで一環した質の高いサービスを提供する。
- ・教育経験の豊富なキャディマスター(プロ有資格者)の配置により、キャディの質を向上させる。
- ・当日のグリーンのコンディションや、昼食の日替りメニュー等の情報を、適宜利用者へ提供する。
- ・食堂の味とサービスを向上する(地元食材を使用したメニュー、カロリー表示・栄養素表示等)。

【Ⅲ事業計画 1-(2) 添付補足資料】

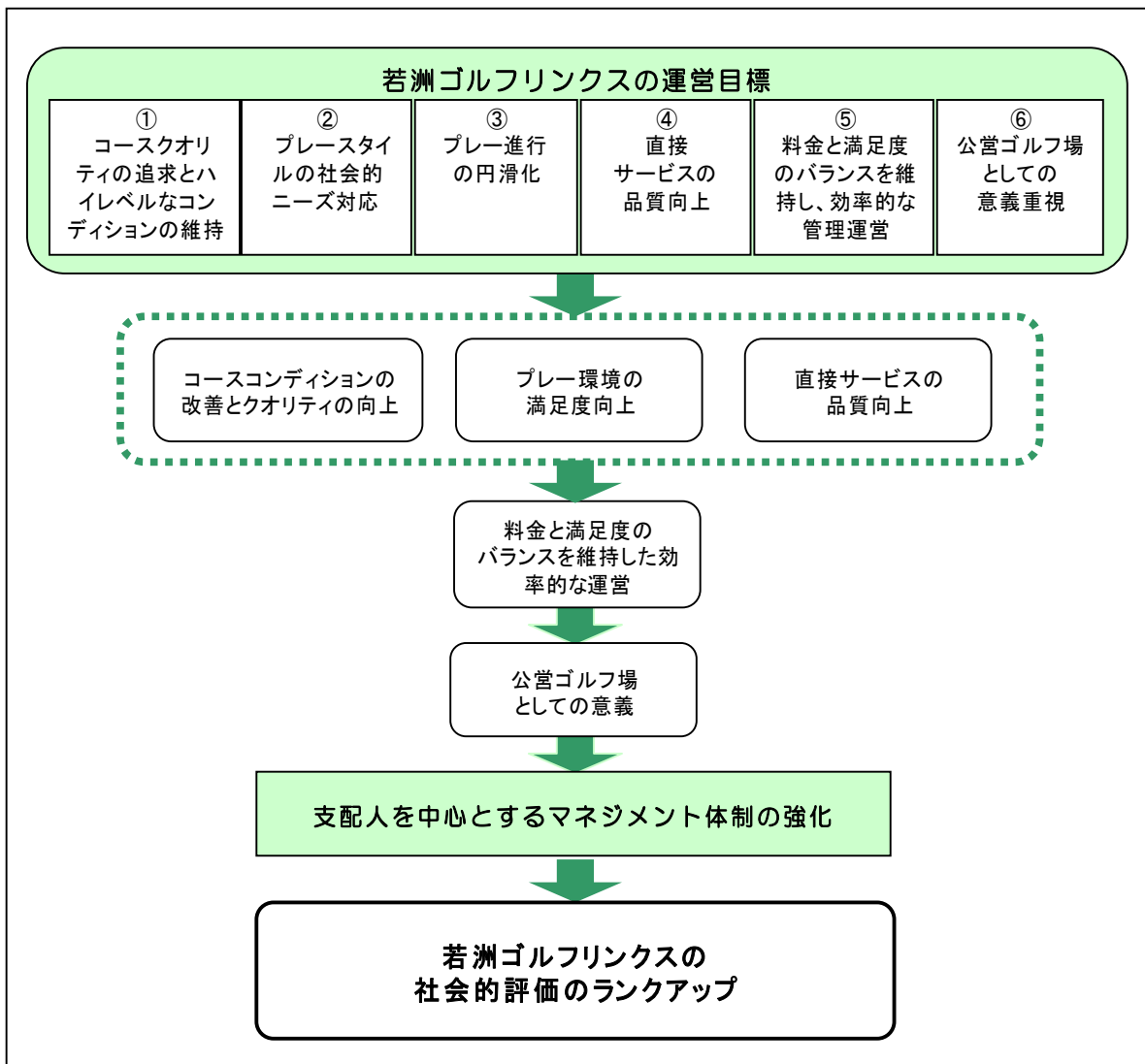
⑤料金と満足度のバランスを維持し、効率的な管理運営を実現

- ・プレー環境を向上させ、質の高いサービスを提供し、利用料金と満足度のバランスを維持する。
- ・マルチジョブシステム等により、人時生産性を向上し、効率的な管理運営を実現する。

⑥公営ゴルフ場としての意義重視

- ・公営ゴルフ場としての意義を重視し、若洲ゴルフリンクスオリジナル企画等の実施により、より親しみやすいゴルフ場づくりを行い、新たなゴルフ需要を創出することで、ゴルフ人口の拡大を図る。

◆若洲ゴルフリンクスの運営目標の展開



(3) ヨット訓練所の管理運営について重要と考える事項を掲げ、これに対し貴団体のノウハウをどのように活かし、業務を展開していくか記載してください。

①管理運営の重要事項

当訓練所の主たる事業である「ヨット教室」には、子供から高齢者までの幅広い年齢層が参加できますが、個々の体力差や運動能力差を勘案し、利用者の安全確保を最優先とすることが、管理運営においても最も重要な事と考えます。

また、都民にとって、ヨット訓練を通し帆走スポーツの魅力に触れるとともに、私たちを取り巻く自然環境問題や、海洋国としての我が国の文化、歴史を見つめなおすことは重要であり、こうした機会を少しでも多くの都民に提供していく事も必要だと考えます。

②管理運営業務の展開にむけて

当グループは、船舶を保有する埠頭公社内の関連部所及び他組織(若洲・夢の島安全管理協議会)並びに海上保安部との連携により、安全情報等の交換・収集を行い、管理運営に反映させます。ヨット教室は、海洋スポーツと青少年の水辺活動の普及・振興並びに競技者の指導育成・強化に実績を持つ東京都ヨット連盟が母体であるNPO 法人マリンプレイス東京が行います。

また、利用者の拡大については、これまでの参加者データやアンケート調査・分析結果等から、利用者のニーズを把握するとともに、都民一人ひとりのライフステージに応じた機会の提供や健康・体力づくりが手軽に楽しみながら行えるようなプログラムを展開していきます。

(4) 海釣り施設の管理運営について重要と考える事項を掲げ、これに対し貴団体のノウハウをどのように活かし、業務を展開していくか記載してください。

①管理運営の重要事項

海釣り施設は、釣りを通じて自然とふれあい、「命の大切さ」「生き物に対する接し方」等を体感することで、日常体感できない癒しを提供します。海釣り施設の管理運営で最も重要なことは、利用者の安全確保であると考えます。また、釣りを通じて海の生物や自然に触れることができる機会は大変貴重なものであり、より多くの都民が東京湾の自然に親しめるよう、利用者の拡大に向けた取り組みを行います。

②管理運営業務の展開にむけて

◆安全で心地よい環境空間の提供

- ・日常的な施設点検や利用指導のほか、ヨット教室運営艇を利用した海上パトロールを実施します。
- ・最新の気象・海象情報を随時入手し、荒天時または荒天が予想される場合には、入場の規制や中止を指導する等、事故を未然に防止するための方策を積極的に行います。
- ・海釣り施設に近いゴルフ場売店内やキャンプ場管理棟に緊急用電話を設け、迅速な対応を可能とし、一体的な管理運営を図ります。
- ・釣針や釣糸による事故や鳥類への被害を防ぎ、自然環境に配慮した、安全で快適な空間を創出します。

◆利用者拡大に向けた情報発信

- ・釣り振興関連団体等の協力によるマナー教室プログラムを展開します。
- ・季節毎の釣果等の情報をタイムリーに、掲示版やホームページで適宜提供・発信します。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その1)

以下に掲げる管理組織にどのような雇用形態の職員を配置し、又は委託して業務を遂行するのか記入してください。

【総括表】

(単位：人)

理 組 織 公園施設名等)	雇 用 形 態						備 考	
	常勤職員	非常勤職員	その他	その他の具体的な内容	計 (1)	警備委託		計 (2)
本社等・・・ (a)	7	0	0		7	—	7	ゴルフリンクス5名 ヨット訓練所2名
ゴルフリンクス・・・ (b)	63	26	11	業務委託 ゴルフコース管理職員	100		100	総務・経理担当者が 海釣り施設を兼務
(うち、キャディの人数)	(42)	(24)	(0)		(66)		(66)	
海釣り施設等・・・ (c)	0	0	0		0	1	1	
小計 (b+c)・・・ (e)	63	26	11		100	1	101	
ヨット訓練所・・・ (d)	2	6			8		8	
総合計 (a+e+d)	72	32	11		115	1	116	

* 該当の雇用形態欄に人数を記入すること。人数は、延べ人数ではなく実数を記入すること（複数の管理組織を担当する職員がいても、いずれかの管理組織に振り分けること。）。

* 「常勤職員」とは、週40時間程度勤務し、貴団体が複数年にわたり雇用する職員をいう。

* 「非常勤職員」とは、アルバイト、パートなど臨時に契約する職員とする。

* 「警備委託」とは、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入すること。

* 「その他」とは、派遣職員など、上記の雇用形態に該当しないものをいう。当該欄に記入した場合は、必ず「その他の具体的な内容」欄にその内容

を記入すること。

* 計 (1) には、警備委託を除いた雇用形態の合計を記入すること。

* 計 (2) には、警備委託を含めた雇用形態の合計を記入すること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○	○	○		支配人	ゴルフ場及び関連施設の 総責任者	日本プロゴルフ協会会員、文部 科学省ゴルフA級教師、芝草管 理技術者、支配人経験11年	○				60時間	管理職
2	○	○	○		副支配人	総務・経理責任者、海釣 り施設・ヨット訓練所責 任者	衛生管理者、ゴルフ場管理職 経験10年	○				40時間	管理職
3	○				副支配人	フロント・食堂・マスター室 の管理責任者・ゴルフ場部門 の安全管理	食堂マネージャー経験2年、 フロントマネージャー経験3 年、支配人経験2年	○				57時間	管理職
4	○				副支配人	コース管理 グリーンキーパー	芝草管理技術者、造園施工管 理技士、コース管理経験20 年	○				57時間	管理職
5	○	○			総務マネー ジャー	総務・労務管理、海釣り 施設安全管理	防火管理者	○				40時間	管理職
6	○	○			経理マネー ジャー	現金管理責任者、海釣り 施設安全管理	簿記3級、経理事務経験15 年	○				40時間	管理職
7	○				キャディ マスター	スタート時間管理、キャ ディ労務管理	日本プロゴルフ協会会員、 キャディマスター経験8年	○				55時間	管理職
8	○				サブ キーパー	コース管理 グリーンキーパーの補佐	芝草管理技術者、コース管理 経験20年	○				55時間	管理職
9	○				サブ キーパー	コース管理 グリーンキーパーの補佐	芝草管理技術者、造園施工管 理技士、コース管理経験8年	○				55時間	管理職
10	○	○			総務	総務・経理、関連施設巡 回	経理事務経験8年	○				40時間	
雇用人員数 (実数) 計								10				総合計	116 (人)
合 計										10			

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				フロント	受付、清算業務、予約受付等	接客業務経験15年	○				40時間	
2	○				フロント	受付、清算業務、予約受付等	接客業務経験10年	○				40時間	
3	○				フロント	受付、清算業務、予約受付等、食堂ホール、売店、キャディ業務	接客業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
4	○				フロント	受付、清算業務、予約受付等、食堂ホール、売店、キャディ業務	接客業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
5	○				フロント	受付、清算業務、予約受付等、食堂ホール、売店、キャディ業務		○				40時間	マルチジョブに対応
6	○				フロント	受付、清算業務、予約受付等、食堂ホール、売店、キャディ業務		○				40時間	マルチジョブに対応
7	○				フロント	受付、清算業務、予約受付等、食堂ホール、売店、キャディ業務	電話交換業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
8	○				マスター室	スタート時間管理、マーシャル等、キャディ業務	ゴルフ場勤務経験7年	○				40時間	マルチジョブに対応
9	○				マスター室	スタート時間管理、マーシャル等、キャディ業務	ゴルフ場勤務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
10	○				マスター室	スタート時間管理、マーシャル等、キャディ業務		○				40時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計								10				総合計	(人)
合 計								10					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				マスター室	スタート時間管理、マールシヤル等、キャディ業務	ゴルフ場勤務経験3年	○				40時間	マルチジョブに対応
2	○				練習場	練習場、清掃、ボール回収等、マスター室業務	ゴルフ場勤務経験3年		○			40時間	マルチジョブに対応
3	○				練習場	練習場、清掃、ボール回収等、マスター室業務			○			40時間	マルチジョブに対応
4	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	毒劇物取扱責任者、コース管理経験15年			○		40時間	委託契約
5	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	危険物取扱責任者乙種4類、コース管理経験10年			○		40時間	委託契約
6	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	大型免許、コース管理経験10年			○		40時間	委託契約
7	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験15年			○		40時間	委託契約
8	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験15年			○		40時間	委託契約
9	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験15年			○		40時間	委託契約
10	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験15年			○		40時間	委託契約
雇用人員数 (実数) 計								1	2	7		総合計	(人)
合 計								10					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

4 / 12 枚

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験10年			○		40時間	委託契約
2	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験10年			○		40時間	委託契約
3	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験5年			○		40時間	委託契約
4	○				コース管理	芝の刈込、更新作業等	コース管理経験5年			○		35時間	委託契約
5	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	班長、キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
6	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	班長、キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
7	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	班長、キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
8	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	班長、キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
9	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	班長、キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
10	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	班長、キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計								6		4		総合計	(人)
合 計								10					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
2	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
3	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
4	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
5	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年	○				40時間	マルチジョブに対応
6	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
7	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
8	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
9	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
10	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計								10				総合計	(人)
合 計								10					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
2	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
3	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
4	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
5	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
6	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
7	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
8	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
9	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
10	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計								10				総合計	(人)
合 計								10					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計（a + e + d）は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
2	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブに対応
3	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
4	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
5	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
6	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
7	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
8	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
9	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
10	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計								10				総合計	(人)
合 計								10					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計（a + e + d）は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
2	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
3	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年	○				40時間	マルチジョブに対応
4	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年	○				40時間	マルチジョブに対応
5	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年	○				40時間	マルチジョブに対応
6	○				ハウスキャディ	キャディ業務、ポーター業務・マーシャル業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年	○				40時間	マルチジョブに対応
7	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年		○			21時間	マルチジョブに対応
8	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年		○			21時間	マルチジョブに対応
9	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年		○			21時間	マルチジョブに対応
10	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験15年		○			21時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計								6	4			総合計	(人)
合 計								10					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年		○			21時間	マルチジョブに対応
2	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年		○			21時間	マルチジョブに対応
3	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験10年		○			21時間	マルチジョブに対応
4	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
5	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
6	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
7	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
8	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
9	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
10	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計									10			総合計	(人)
合 計									10				

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

10/12 枚

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
2	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
3	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			21時間	マルチジョブに対応
4	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年		○			21時間	マルチジョブに対応
5	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年		○			21時間	マルチジョブに対応
6	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年		○			21時間	マルチジョブに対応
7	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年		○			21時間	マルチジョブに対応
8	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年		○			21時間	マルチジョブに対応
9	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年		○			21時間	マルチジョブに対応
10	○				パートキャディ	キャディ業務、ポーター業務・コース管理補助作業	キャディ業務経験3年		○			21時間	マルチジョブに対応
雇用人員数 (実数) 計									10			総合計	(人)
合 計									10				

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計 (a + e + d) は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			○	設計・技術 担当	コース改修・改造設 計、企画担当	日本ゴルフコース設計者協会 会員、ゴルフ場設計者、ゴル フ解説者	○				2時間	通常本社勤務((4時間×2回)/ 月に企画全体会議に出席)
2	○			○	技術・企画 担当	コース管理・設計、協 働・連携等の企画担当	日本ゴルフコース設計者協会会 員、ゴルフ場設計従事20年、ト ーナメント等企画経験25年	○				3時間	通常本社勤務((4時間×2回)/ 月に企画全体会議に出席、(2 時間×2回)/月に現状調査等)
3	○			○	財務・監査 担当	経理財務・各種契約・ 監査担当	C F O、財務業務経験10 年	○				3時間	通常本社勤務((4時間×2回)/ 月に企画全体会議に出席、(2 時間×2回)/月に現状調査等)
4	○			○	CS担当	CS向上・チェック& レビュー担当	CS管理・向上企画業務経 験15年、秘書技能検定2 級	○				4時間	通常本社勤務((4時間×2回)/ 月に企画全体会議に出席、(2 時間×4回)/月に現状調査等)
5	○			○	CS担当	CS向上・チェック& レビュー担当	ゴルフ場従事経験20年、 CS管理担当経験15年、 労務担当経験10年	○				4時間	通常本社勤務((4時間×2回)/ 月に企画全体会議に出席、(2 時間×4回)/月に現状調査等)
6		○			警備員	海釣り施設、関連園地 の警備	救急救命訓練				○	30時間	土日祝のみ委託のため、配 置人数及びその時間 (12Hx10日間)を記入
7													
8													
9													
10													
雇用人員数 (実数) 計								5			1	総合計	(人)
合 計								6					

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計（a + e + d）は、一致させること。

【2 人員配置計画等】

12 / 12 枚

(1) 人員配置計画 (その2)

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記入してください。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付してください。

	管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	ヨット訓練所	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1			○		ハーバー チーフ	現地責任者、一般管理事務統括、施設管理(建物・設備・清掃・植物・その他施設)、施設巡回、電話受付	公園管理運営業務歴15年以上、1級小型船舶操縦士、上級救命講習、刈払機、チェーンソー等	○				40時間	
2			○		ハーバース タッフ	教室・イベント企画調整、教室運営、広報PR、施設巡回、電話受付	ヨット乗艇・教室運営・大会運営経験15年以上、公認スポーツ指導者、1級小型船舶操縦士	○				40時間	
3			○		サブスタッフ ①	教室・イベント受付及び巡回等	ヨット乗艇経験3年以上		○			28時間	
4			○		サブスタッフ ②	教室・イベント受付及び巡回等	ヨット乗艇経験3年以上		○			28時間	
5			○		サブスタッフ ③	教室・イベント受付及び巡回等	ヨット乗艇経験3年以上		○			28時間	
6			○		サブスタッフ ④	教室・イベント受付及び巡回等	ヨット乗艇経験3年以上		○			28時間	
7			○		サブスタッフ ⑤	教室・イベント受付及び巡回等	ヨット乗艇経験3年以上		○			16時間	
8			○		サブスタッフ ⑥	教室・イベント受付及び巡回等	ヨット乗艇経験3年以上		○			16時間	
9	○	○	○	○	企画スタッフ	海上公園の活性化等の企画担当	公園管理運営業務歴12年程度	○				2時間	通常本社勤務((4時間×2回)/月に企画全体会議に出席)
10	○	○	○	○	技術スタッフ	調査・設計・技術監理	樹木医、土木施工管理技術士、職業訓練指導員免許(造園科)、造園技能士、農業管理指導士、刈払機、チェーンソー等	○				3時間	通常本社勤務((4時間×2回)/月に企画全体会議に出席、(2時間×2回)/月に現場調査等)
雇用人員数 (実数) 計									4	6	0	0	総合計 (人)
合 計									10				

*管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*キャディの人員も記載すること。

*本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

*役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

*能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

*雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

*総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画 (その1)」の合計（a + e + d）は、一致させること。

勤務ローテーション表(標準1か月) その1

キャディ以外		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	休日数		
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
総務経理	支配人			休							休	休							休						休	休						6		
	副支配人(総務・経理)	休	休						休	休			出			休	休						休	休			出			休	休	10		
	総務		休	休						休	休		出			休	休						休	休			出			休		9		
	経理			休	休						休	休	出				休	休						休	休	休	出					8		
	総務・経理		休							休			休				休							休		休	休	休					6	
一日出勤数	3	1	2	3	4	4	4	3	1	2	3	3	4	4	3	1	2	3	4	4	4	4	3	1	2	3	3	4	4	3	2			
フロント・予約	副支配人					休							休							休				休			休			休		6		
	フロント1	休							休				休		休	休							休				休					7		
	フロント2		休							休						休								休	休			休					6	
	フロント3			休							休							休						休		休		休					7	
	フロント4				休	休						休							休							休	休						6	
	フロント5				休	休							休		休					休						休	休	休					7	
	フロント6					休							休	休							休					休	休	休					6	
	フロント7						休	休	休				休		休							休				休	休	休			休		7	
	一日出勤数	6	6	6	5	6	6	6	5	6	6	6	0	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	6	6	0	6	5	6	7	0	
マスター室	キャディマスター			休							休	休								休					休	休						6		
	マスター室1			休						休			休							休	休					休	休			休			7	
	マスター室2		休						休	休			休						休					休	休		休						7	
	マスター室3	休						休	休				休						休					休	休		休						6	
	マスター室4					休							休	休			休						休	休		休	休			休			7	
	練習場					休				休			休		休					休			休			休	休		休		休		10	
練習場	休			休	休	休					休	休		休					休			休			休	休	休	休	休	休	休	10		
一日出勤数	4	5	5	5	4	4	4	4	5	6	5	0	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	5	5	5	0	5	5	5	5	5	5		
コース管理	グリーンキーパー		休							休			出				休	休					休			出				休		6		
	サブ				休	休					休	休	出	休						休						出	休	休				6		
	サブ			休	休						休	休	出						休	休						出							7	
	管理スタッフ		休							休			出				休	休						休	休		出			休		6		
	管理スタッフ		休							休		休	出				休			休					休	休		出			休		7	
	管理スタッフ		休							休			出			休				休			休		休		出			休			6	
	管理スタッフ			休							休	休	出						休			休	休			出			休				7	
	管理スタッフ	休					休				休	休	出		休					休			休			出	休						6	
	管理スタッフ		休							休		休	出	休				休				休				出			休					7
	管理スタッフ パート			休			休						出		休	休						休		休		出	休				休		6	
	管理スタッフ パート		休	休						休	休		出			休	休		休	休				休	休		出	休			休		9	
管理スタッフ パート			休					休	PM	PM		出			休	PM	PM				休		PM	PM		出		休	PM			6		
管理スタッフ パート	休	PM	PM						休	PM	PM	出			休	PM	PM					休	PM	PM		出		休	PM			9.5		
一日出勤数	11	8	9	11	13	12	12	11	8	8	9	13	12	11	9	9	9	12	12	10	10	10	9	9	11	13	11	11	9	9				
本社	設計・技術担当					4H															4H												通常本社勤務	
	技術・企画担当					4H					2H											4H				2H							通常本社勤務	
	財務・監査担当					4H					2H											4H				2H							通常本社勤務	
	CS担当			2H		4H					2H									2H			4H			2H							通常本社勤務	
	CS担当			2H		4H					2H									2H			4H			2H							通常本社勤務	
一日出勤数			2		5						4								2		5				4									

組織名:若洲ヨット訓練所管理係(仮称)

管理公園:若洲ヨット訓練所

事務所:ヨット訓練所艇庫

役職/日・曜日	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	備考	
ハーバーチーフ	◎	◎		◎		◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎			◎		◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎			
ハーバースタッフ	○		◎	○	◎		○	◎				○	◎	○		◎	○	◎		○	◎	○	◎		○	◎	○	◎	○	◎		
サブスタッフ①~⑥	2	3	3	2	3	3	2	2	3	3	3	2	3	2	2	3	3	2	3	3	2	2	3	3	3	2	3	2	2	3		
企画スタッフ				④														④														通常本社勤務
技術スタッフ				④						②								④							②							通常本社勤務
行事等				企画全体会議														企画全体会議														
出勤者計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

- (注)1 ◎印は、出勤日及び責任者
- (注)2 ○印は、出勤日
- (注)3 数字は、サブスタッフの人数
- (注)4 ○印の中の数字は、勤務時間数
- (注)5 本表は、繁忙期体制

(2) 現場の管理事務所と本社（グループ構成員を含む。）の連絡調整方法、役割分担、指揮命令の考え方、施設ごとの体制について記入するとともに、その関係がわかる組織図（A4版：様式任意）を作成し、提出してください。また、組織として職員の技術や能力、接遇の向上を図るための貴団体の取組を具体的に記入してください。

①連絡調整方法、役割分担、指揮命令の考え方、施設ごとの体制

◆若洲海浜公園の管理運営

グループ構成企業である東京港埠頭公社、ティアンドケイ、マリンプレイス東京の本社スタッフと、支配人をはじめ各現場スタッフで構成する「運営協議会」を設置し、事業計画や収支計画等の重要な案件の調整・意思決定を行います。現場における日常的意思決定については、支配人が総括して行うとともに、事務所と各本社の連絡調整も担当します。

◆指揮命令

若洲海浜公園の総括責任者である支配人の下に、総務経理、営業、コース管理の3部門それぞれに副支配人を配し、強力なトップマネジメント体制をしきめます。

◆役割分担

東京港埠頭公社が公園全体の総務経理部門と海釣り施設、関連園地、ヨット訓練所を総合的に管理します。ティアンドケイは、ゴルフ事業の専門分野である営業部門とコース管理部門を担います。マリンプレイス東京は、ヨット教室をはじめとする海洋レクリエーションの普及等に関する運営業務を担当します。

◆施設ごとの体制

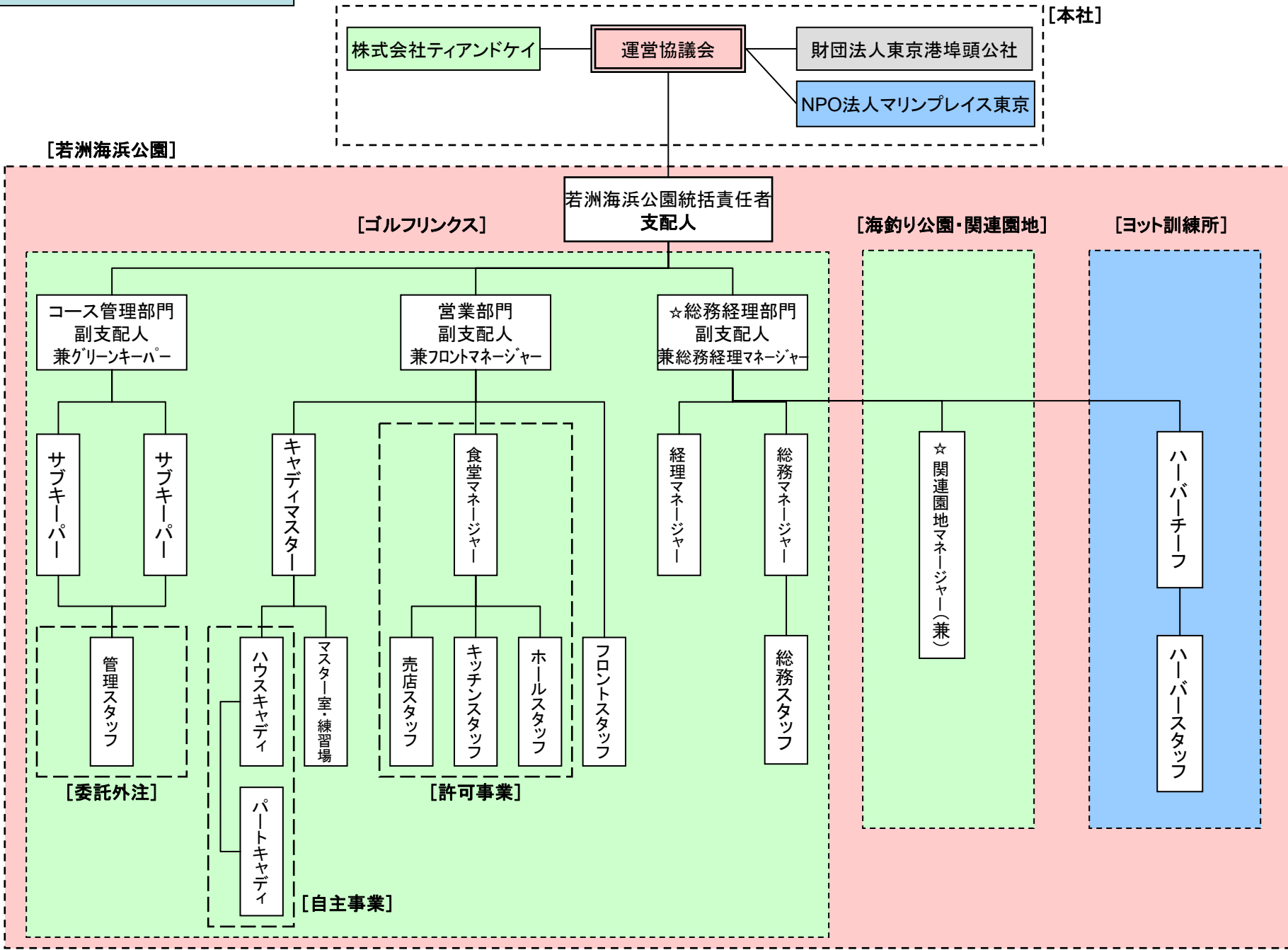
- ・ゴルフ施設:支配人の下、総務経理部門副支配人が総務経理マネージャーを兼務、営業部門副支配人がフロントマネージャーを兼務、コース管理部門副支配人がグリーンキーパーを兼務し、効率的な管理運営を行います。
- ・海釣り・関連園地施設:ゴルフ施設の総務経理部門副支配人が関連園地マネージャーを兼務します。
- ・ヨット訓練所施設:ハーバーチーフの下にハーバースタッフを配し、安全に配慮した管理運営を行います。

②職員の技術や能力、接遇の向上を図るための取組み

当グループは、指定管理者に求められる、行政代行能力や質の高い接遇能力、技術力等の向上のため、次のような取組みを行います。 (●全体共通、○ゴルフリンクス)

海上公園管理能力向上のための取組み	<p>【行政代行能力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公園行政への一層の理解を深めるための講習会受講 ●海上公園条例等根拠法令、委託・工事の監理監督知識向上のための研修 <p>【維持管理能力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●維持管理技術の向上や安全管理のための内部、外部研修 ●各種資格取得を奨励・支援 <p>【接客・接遇力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経験年数などに応じた接客・接遇研修 ●協働の進め方に関わるボランティアコーディネート研修 ●個人情報保護や暴力団対策に関する研修 ○ベテランキャディマスターによるキャディ教育の強化 ○マスター室・フロントスタッフにもキャディ教育を実施(キャディ不足時に対応) ○座学だけではなく実技の反復にも重点を置く(キャディ・マスター室・フロント) ○キャディにもマーシャル業務を教育
教育・研修カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ●講習会参加:適宜 ●維持管理・安全管理研修:年10回 ●接客・接遇研修:年1回 ●ボランティアコーディネート研修:年1回 ●個人情報保護・暴力団対策研修:年1回 ○外部講師のフォローアップ教育:年2回 ○マナー教育研修:年2回 ○接遇研修:年2回 ○キャディ技術研修:年4回

若洲海浜公園 運営管理組織図



【3 管理運営計画】

(1) ゴルフリンクスを今以上の顧客満足度の高いゴルフ場とするには、若洲海浜公園管理運営方針における目標を踏まえつつ、受付からスタート、プレー、食事、ホールアウト後まで、様々な配慮が必要です。これに応えるためのポイントを整理し、貴団体の取組を具体的に記載してください。また、公営ゴルフ場としての意義を高めるための方策について記載してください。

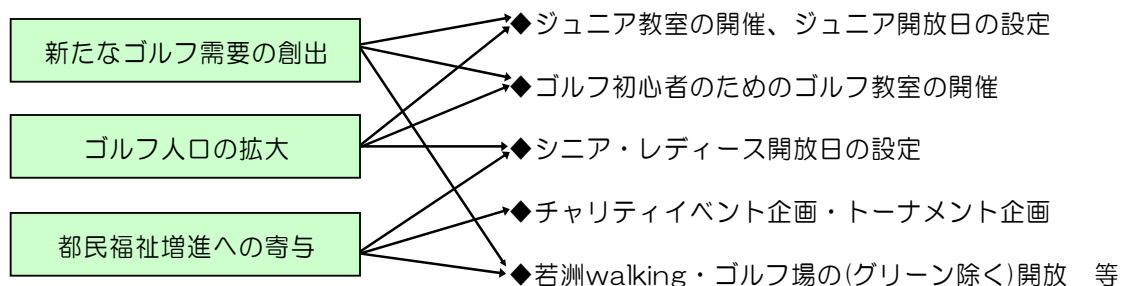
①顧客満足度を左右するポイント

プレーに関する一貫したおもてなしを提供	予約から受付、精算までの接遇と、円滑なプレー進行のための時間管理、気持ちの良いプレーを実現する質の高いキャディサービスの提供など、常に利用者の立場を考え「おもてなしの心」に重点を置いたサービスを提供します。また、当日のグリーンコンディションをマスター室に掲示するとともに、スタッフからも、適宜利用者にご案内できる環境を整備します。
食事や待ち時間度合いの満足	満足度調査や試食会を開催し、食堂の味の向上とメニューを工夫します。また、受け入れ組数を一定数に制限することで、必要以上の待ち時間の発生を防止し、プレー進行を円滑化して、昼食時の待ち時間を60分以内とします。
安全・安心のあるゴルフ場	セキュリティ（防犯・暴力団対策）や各施設の衛生管理を徹底し、利用者が安全かつ安心してプレー出来る環境とします。

当グループは、支配人の強力なマネジメントの下、「おもてなしの心」に重点を置いた教育を全スタッフに徹底します。また、上記の3つのポイントにおいて優れたサービス品質を維持するため、定期的に非常勤スタッフによるサービスチェックを実施し、WEB サイトやアンケート調査により利用者の満足度を調査し、問題点等を速やかに現場へフィードバックし見直すチェック&レビューを随時行い、顧客満足度を最大限に高めます。

②公営ゴルフ場の意義を高めるための方策

当グループは、若洲ゴルフリンクスが地方自治法に基づく公の施設であることを十分に認識し、若洲ゴルフリンクスでしか成し得ない、若洲海浜公園が一体となった様々な企画を実施して、質の高いサービスを提供し、都民福祉の増進に寄与します。また、ゴルフ利用者以外の都民に対しても、ゴルフへの興味を喚起するような企画を実施し、新たなゴルファーの誕生を促します。

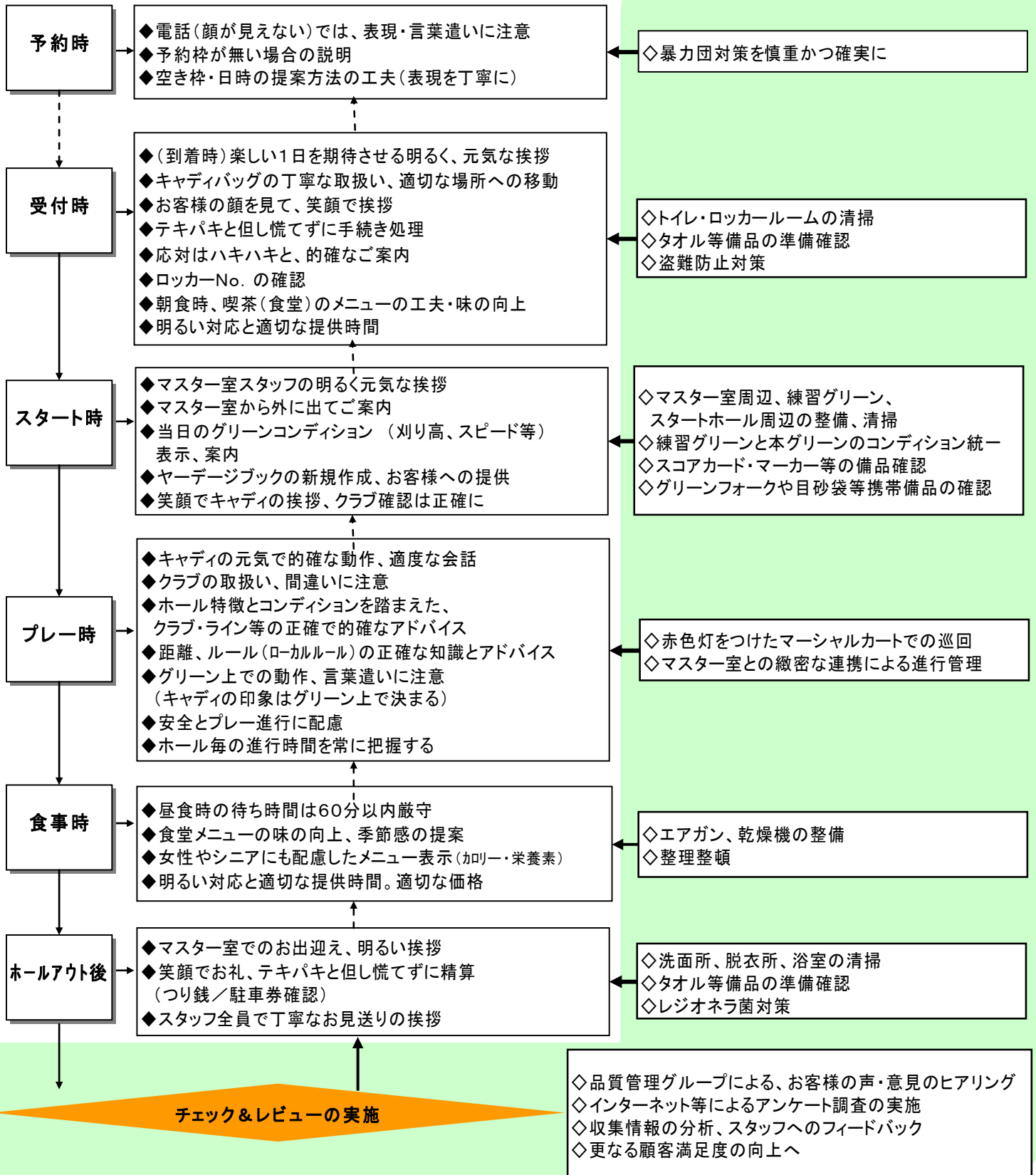


【Ⅲ事業計画 3-1）添付補足資料】

◆顧客満足度向上のための直接サービスのポイント「おもてなしの心」

直接サービス

バックアップ体制



(2) ヨット訓練所の使命と役割を踏まえ、一層の活性化を推進するための取組について、記載してください。

①使命と役割

ヨット訓練所は、広く都民に海洋レクリエーションの普及を図るとともに、自然環境保護の大切さや海洋国としての我が国の文化・歴史等を学ぶ機会を提供していきます。ヨット訓練所を通じて得られる自然との触れ合いや、利用者同士による協働・連携意識の深まり等を、一人でも多くの利用者に体感・体得していただき、その成果を地域社会に還元していくために、以下の取組を行います。

②活性化推進のための取組み

これまでヨット訓練所では、ヨットの帆走技術の習得や向上に力点を置いた施設利用や運営を行ってきました。今後は、誰もが気軽に海洋レクリエーション活動に参加できるよう、新たなプログラムを企画・実施するとともに、ゴルフ場およびキャンプ場を有する本公園の特徴を活かし、施設間ネットワークを活用した企画等も提案していきます。また、現在実施している4月～11月の土・日・祝日や夏休み期間中心のヨット教室講座期間を順次拡大し、年間を通じて、より多くの都民が利用できるよう活性化を図っていきます。

③活性化推進のための企画例

- ◆ 近隣小学校等の身近なプールを利用したヨットの乗船体験(アウトリーチ活動による利用者誘致)
- ◆ 親がゴルフを楽しむ間に子供はヨット教室で帆走技術を学ぶといった複合的なスポーツ企画
- ◆ 親子の絆を育むヨットとキャンプの同時体験等

(3) 海釣り施設の魅力を十分に発揮し、より多くの都民が楽しめるようにするには、どのような事項に心がけるか、課題と対応策について具体的に記載してください。

①海釣り施設における課題

昨今の釣りブームの盛り上がりとともに、都心から近く気軽に出かけられるという立地条件と、公共の施設ということもあり、誰もが安全かつ気軽に楽しむことができることから、利用人口は年々増加しています。特に、平成16年より人工磯部分の釣り利用が解禁になったことから、土・日・祝日は大盛況となっています。しかし、利用者自身のマナーが追いついていないこともあり、ゴミの放置や施設の不適正利用による環境の悪化、利用者同士のトラブル等も多くなってきています。

②海釣り施設における課題への対応策

- ◆ 各施設点検や警備員による巡回等を実施し、転落等の危険回避の措置を講じます。
- ◆ 船舶航行の支障となるような海域への投げ釣り等、危険行為の防止に努めます。
- ◆ 「清掃活動」を釣大会や教室開催時に組み込み、楽しみながらマナーやモラル向上を図るプログラム「We Love Fishing, We Love 若洲」活動を企画・実施します。
- ◆ ホームページを利用した「若洲アクアミュージアム」を展開し、釣れる魚の写真展示や魚の種類、釣果等の情報をタイムリーにかつ、継続的に提供しながら、施設の魅力をアピールします。

(4) 貴団体が都民等との協働・連携についてどのように考え、取り組んでいくのか具体的に記載してください。

①協働・連携についての考え

若洲海浜公園を都民の貴重な財産として、効果的・効率的に活用し、都民とともに守り育て、都民に愛される公園づくりを目指していくことが大切と考えます。また、現在失われつつある都民のコミュニティー復権のためにも、地域の結びつきを深めていくことを進めていかなければなりません。そのためには、当グループが持つ海上公園の管理・運営の専門性や技術力、機動力等を活かしつつ、都民の知識や経験を活用する協働・連携の取組みを積極的に推進していくことが必要だと考えます。このため、当グループは先ず個々の施設内にて下記の取組みを実施し、次に公園全体での取組みに発展するよう、スタッフのコミュニケーション能力の向上に努め、施設間での有機的な連携を図っていきます。

②協働・連携への具体的な取組み

若洲ゴルフリンクス	(財)日本ゴルフ協会、東京都ゴルフ連盟・東京都プロ会等のゴルフ団体との連携のもと、ジュニア教室やチャリティーイベントを企画・開催するとともに、その運営要員として都民ボランティアを募り、都民との協働を図ります。
ヨット訓練所	東京都ヨット連盟との連携により、各種公認資格取得者を講師として配置し、開設から無事故で運営してきた実績を踏まえ、安全な教室運営を継続します。
海釣り施設	釣り関係団体と協働・連携してマナー向上と環境に配慮した教室の充実を図ります。
サイクリングロード	近隣の保育園児や受付・巡回時の声かけによる当日利用者との協働で、「菜の花ロード」「コスモスロード」等の季節感を感じさせる演出を継続します。

(5) 都民等からの様々な要望、苦情に対処し、これをいかに運営業務に反映していくか、貴団体の取組を記載してください。

①要望・苦情に対する基本方針

都民等から寄せられる要望・苦情等は、若洲海浜公園を管理運営するための貴重な情報源です。当グループは、自ら積極的に情報を幅広く収集し、速やかに業務に反映させる所存です。そのため、全てのスタッフが利用者の声を支配人へ伝えることができるよう、各部門に情報収集と分析・対策決定を行う品質管理グループを配し、支配人の監督の下、速やかに対処実践します。また、公園利用時に利用者から寄せられた苦情に対しては、その当日中に対処することを原則とし、全てのスタッフに周知徹底させるものとします。

②品質管理グループの機能

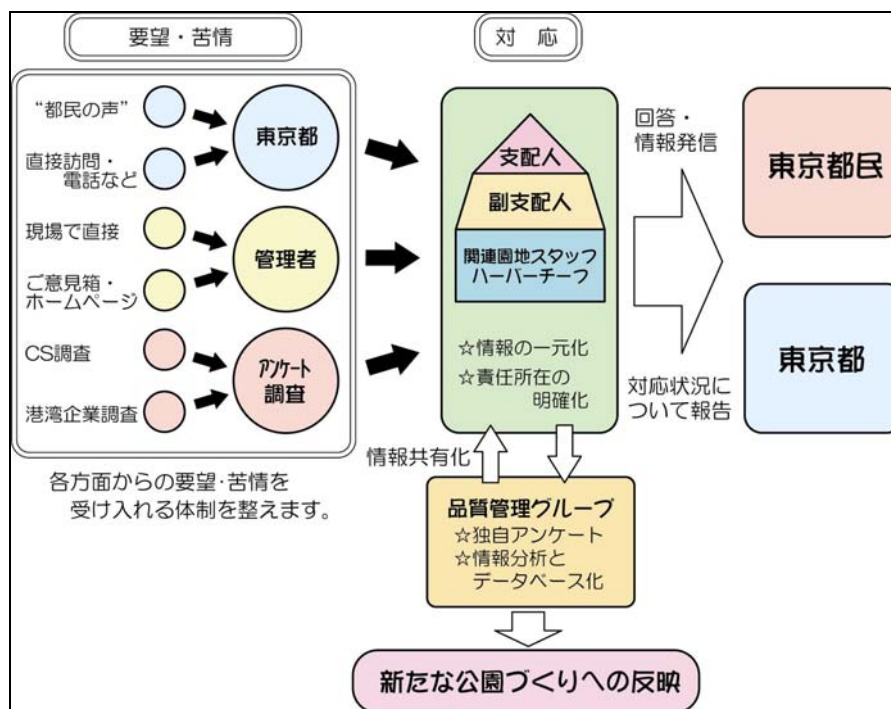
常勤スタッフと非常勤スタッフとで構成する品質管理グループは、東京都やWeb上等に寄せられた利用者の声を収集するだけでなく、アンケート調査やスタッフ自らが利用者として施設を利用するモニタリングを行い、その結果を分析、データベース化します。また、定期的に支配人と各部門長が協議を行い、実務に反映するプログラムを決定するとともに、そのプログラムの実行を監視するチェック・アンド・レビューも行います。

③東京都に対する報告と情報の共有化

要望・苦情等の分析結果は、当グループ本社を通じて東京都へ報告し、情報の共有化を図るとともに、管理運営方針へ反映させるための協議会を定期的を開催します。また、要望に対する対策やスケジュールの情報は、東京都の監督下において、公開することを基本とします。

【Ⅲ事業計画 3-(5) 添付補足資料】

◆要望・苦情への取組み方法



- (6) 若洲ゴルフリンクスのキャディ運営は、指定管理者が自主的に行う事業となりますが、ゴルフ場の評価に大きく影響する要因となることから、その体制や運営の在り方が重要となります。これらについて、貴団体の考え方を記載してください。

キャディは利用者と接する時間が一番長く、ゴルフ場の印象を位置づける重要な業務です。当グループは、スタッフのスキル向上のための教育を徹底し、おもてなしの心を重視した質の高いサービスを提供して、顧客満足度を高めます。また、マルチジョブ等の導入により、効率的なキャディ運営を行います。

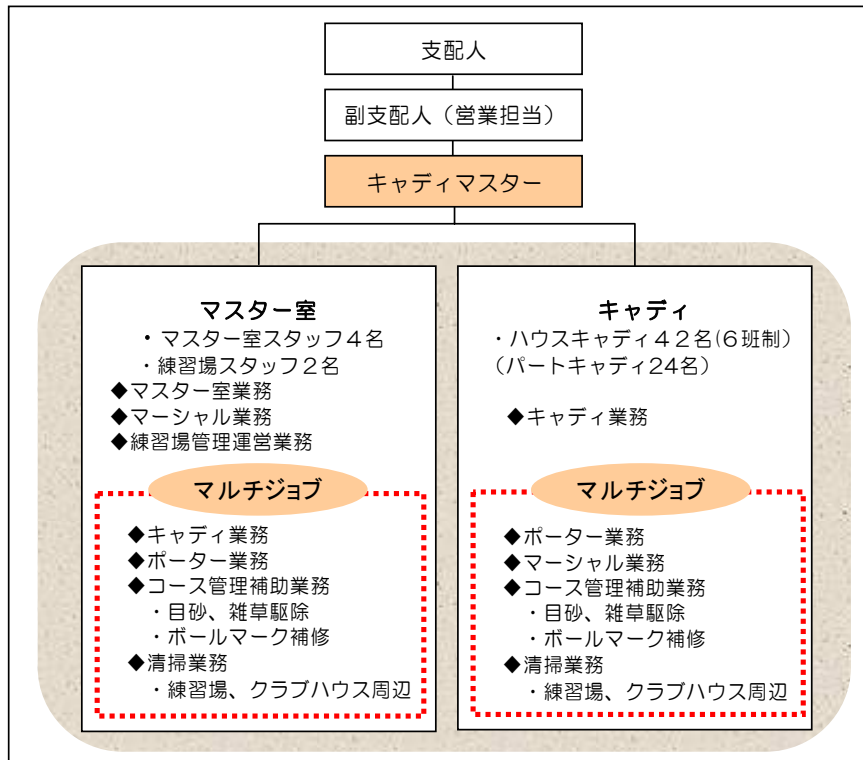
◆キャディ運営の考え方

(図 3-6 添付補足資料有)

サービススキルの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の経験豊富なキャディマスター(プロ有資格者)を配置 ・ハウスキャディの雇用(42名)とマナーから進行管理に至るまでの教育を徹底 ・パートキャディ(公休日補充)は教育を終了した優秀な人材のみを登録 ・「ON-JT」「OFF-JT」を用い知識(座学)だけでなく、動作の体得にも重点を置く ・ホテル経験者等、外部講師のフォローアップ教育の実施(2回/年) ・マナー教育(2回/年) 接遇(2回/年) ・キャディ技術教育(通年) キャディ技術研修(4回/年)の実施 ・プレー進行の円滑化のためマーシャル業務をマニュアル化、スキルを付加する ・キャディ不足時対策として、マスター室・フロントスタッフへもキャディ教育を実施
効率的なキャディ運営	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀なキャディマスターを中心とした運営体制の確立 ・進行情況等の各種情報をキャディマスターへ集約 ・キャディ組織(班長制)内における、朝礼と終礼の実施による伝達と報告の徹底 ・キャディマスターの一括管理による業務ローテーション化の推進 ・アイドルタイムには目砂や雑草取り、ボールマーク補修等を行うマルチジョブ体制を実施

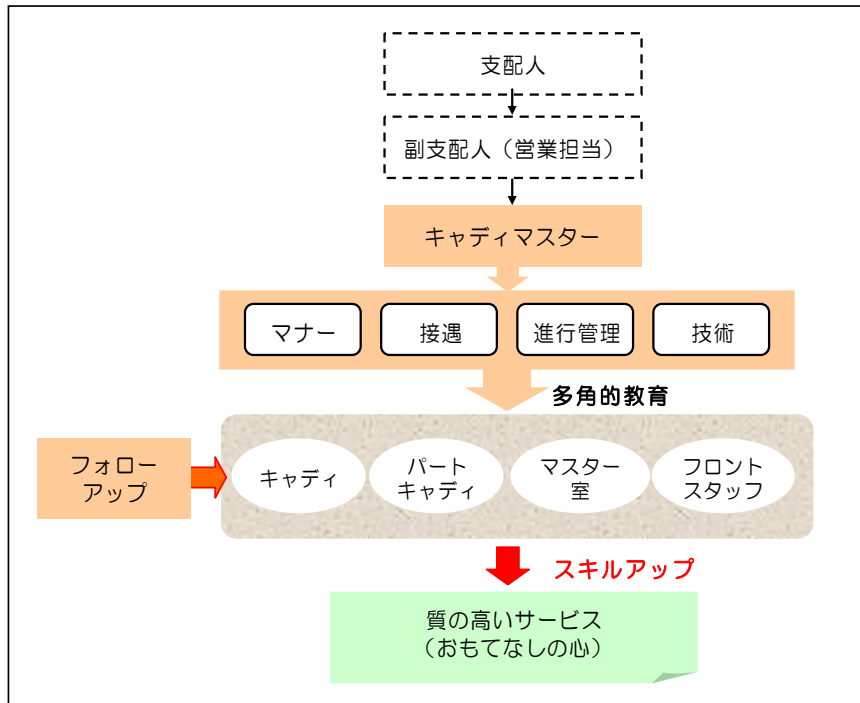
【Ⅲ事業計画 3-(6) 添付補足資料】

◆キャディの運営体制のイメージ



◆キャディ教育のイメージ

- ・マナーからキャディ技術、進行管理までの多角的なスキルを養成
- ・定期的なフォローアップ教育の実施



- (7) ヨット訓練所、海釣り施設をより魅力あるものとするために、指定管理者自らが経費を負担し、自主的な事業を実施することも重要となります。指定管理者として自主的な事業を行う際の計画内容を記載してください。

①自主的な事業についての考え

海上公園では、都民の要望を的確に捉え、現状の資源を最大限に活用することが求められています。当グループは、公益事業者である非営利性・中立的な立場のメリットを活かして、「海を思い、海を愛し、海を敬う」といった海洋思想の普及・啓発を図るとともに、若洲海浜公園の魅力の向上や一層の活性化につながる様々な事業を展開していきます。

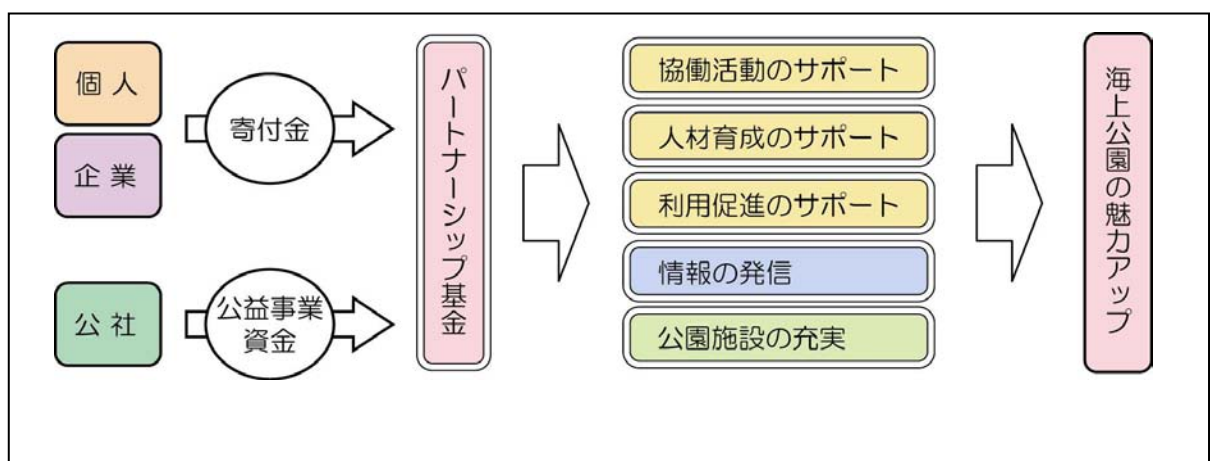
②「東京都立海上公園パートナーシップ基金」の設立と自主的な事業の計画内容

今後、協働事業が多くの場合で想定されることから、海上公園を支援する個人や企業等からの寄付金、及び埠頭公社内公益事業資金を活用した基金を設置し、これを活用して海上公園の魅力の向上や活性化を図る公益的な事業を展開します。

- ◆ヨット教室等事業充実のための補完的事業
- ◆高校のヨット部等の部活動支援事業の実施
- ◆ヨット教室運営や選手育成・強化に必要な資格取得支援の実施
- ◆東京国体開催を視野に入れた、選手の育成強化を図る事業等の立案
- ◆「ヨットまつり」等誰もが楽しめる海洋スポーツ事業の企画
- ◆受益者負担による艇の陸置き許可等による利用の拡大(救助艇保有の高校・大学のヨット部等対象)
- ◆海釣り施設での「稚魚の放流」等自然環境や総合学習への寄与
- ◆海釣り施設の活性化と利用マナーの向上につながる「釣り大会」「マナーPR」等の事業企画と実施

【Ⅲ事業計画 3-(6) 添付補足資料】

◆パートナーシップ基金の仕組み



【4 維持管理等計画】

- (1) 若洲海浜公園を適正に維持管理していく前提として、海上公園が果たす社会的役割や位置付けについて、貴団体がどのように認識されているのか、述べてください。

①海上公園の経緯と果たす役割

海上公園は「失われた東京の海を都民の手に取り戻す」という都民の願いを込めて誕生した公園です。東京の市街地の 1/4 を占める海域に造成された埋立地に、大小の公園と緑道を配置し、既成市街地では実現し得なかった公園緑地のネットワークを実現してきました。「陸～渚～海」を公園区域に含む海上公園は、当時としては画期的な「都民参加」も含め、従来の公園概念を超えた独自の公園として、整備・運営されてきました。このような海上公園の成立の背景を考慮し、当グループはその社会的役割を、『東京湾における自然再生と美しい景観形成への貢献、特色あるスポーツ・レクリエーションの場の提供』と認識しています。

②若洲海浜公園における社会的役割

本公園は「スポーツ・レクリエーションの多様化とニーズの増大への対応」と「急激な都市化によって失われた都市内の緑地や自然の復活」という社会的役割を担っています。

当グループは、こうした社会的役割を念頭に置き、都民に親しまれる憩いの場を提供するという重要な責任を担っていること、そしてゴミ埋立地盤という特殊条件のもとで、ゴルフ場・ヨット訓練所・海釣り施設・サイクリングコース・キャンプ場といった施設が一体的に配置されていることを十分に踏まえ、様々なレクリエーションを都民に提供するために、今後も適切に維持管理を行っていきます。



- (2) ゴルフ場のコース管理水準は、ゴルフ場の評価を最も左右するものです。貴団体が現状のグリーンやフェアウェイ等を今以上とするために、今後の在り方を含めて重要かつ配慮が必要と考えることを挙げ、これについての考え方や取組方を述べてください。また、貴団体のコースの年間維持管理計画を別紙（A 4版 様式任意 1枚）で提出してください。

①現状を踏まえ、重要かつ配慮が必要なポイント

当グループは、現状のグリーンやフェアウェイ等を今以上とするための、重要かつ配慮が必要なポイントは、以下の通りと考えます。

グリーン／ フェアウェイ／ ティー／ラフ 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水等が滞水しないよう、透水性を向上させる。 ・不陸(でこぼこ)やサッチ(刈り滓)層が無い、やや締まったコンディションを実現。 ・雑草、異草種の混入を無くし、均一した芝生育と色合いを実現させ美しさを表現。 ・芝の育成環境を整え、芝本来の生育能力を最大限に引き出すことにより、低農薬での管理を実現する。 ・緊密に刈り込まれたコンディションを実現。 ・ティーグラウンドは、緊密な刈り込みにより、平滑したコンディションを実現。 ・計画的なティーマークの位置決めとディボット跡の素早い修復。
グリーン	<ul style="list-style-type: none"> ・練習グリーンを含めた全てを均一のコンディションとする。 ・不陸、ボールマーク跡を無くし、スムーズな転がり均一したスピードを実現。 ・適度の芝密度と硬度(コンパクション 10～12)を持ち、ショットの良し悪しが忠実に表現されるフェアなコンディションを実現。 ・ファースト・カットを造り、ルール及びプレー上の問題を無くす。 ・当日のコンディションを利用者へ告知する。
フェアウェイ	<ul style="list-style-type: none"> ・ディボット跡やアンダーリペア跡を素早く修復し、プレーヤーにとってフェアなコンディションを常に維持する。 ・ホール戦略性に見合ったフェアウェイ・ラインを設定し、プレーヤーの挑戦欲を喚起する。また、刈り込み(ゼブラカット等)を工夫し、視覚的にも美しく仕上げる。
バンカー他	<ul style="list-style-type: none"> ・(バンカー)雨水等が滞水しないよう、排水性を向上させる。 ・(バンカー)むやみに目玉状態になったり、硬すぎてボールが飛び出ることの無い、フェアなコンディションを常に維持する。 ・(バンカー)エッジを切り、ルール及びプレー上の問題を無くす。 ・(ウォーターハザード)美しい水質を実現する。 ・(ウォーターハザード)周囲を整備しルール及びプレー上の問題を無くす。 ・ティーの昇り口や歩経路に見られる、裸地の修復。 ・樹木の支柱を外してプレー上の問題を無くし、ステイタス上げる。

②ポイントに対する考え方・取組み

科学的分析(物理的・化学的)に基づく高度なコース管理を行い、愛情を持って密度の高い健康な芝生を育て、コース全体の美観を整えることにより、季節ごとの最高のコース品質を提供します。

グリーン/ フェアウェイ/ ティー/ラフ 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・更新作業により土壌表面下の固結層を除去し、通気性と透水性を改善する。 ・目砂により不陸を修復し、また、サッチ層を除去する。 ・雑草や異草種(ティフトン等)を除去する。 ・目砂と肥料散布を行い、新しい根の生育を促し、芝密度を向上させる。 ・地盤沈下やガスによる損傷部分の速やかな修復を実施する。 ・早期回復が見込めない箇所は、土壌を入替え、芝を張り直す。 ・ディボットやボールマークの修復、雑草除去等は、マルチジョブによるコース管理補助作業を行う。
グリーン	<ul style="list-style-type: none"> ・プレー進行上で支障が生じる箇所は、床砂を入替え、芝を張り直す。 ・夏季の透水性改善とドライスポット対策として、浸透材の灌注を実施する。 ・刈り込みは毎朝行い、ステンプ・メーターで測定したスピードを、刈り高と併せて、来場者に告知するとともに、スタッフにも通知し利用者からの問い合わせに備える。
フェアウェイ	<ul style="list-style-type: none"> ・排水不良部分の暗渠排水工事等を行い、状況に応じて土壌の入替えや排水柵を新設する。また、フェアウェイ・ラインのセッティングを工夫し戦略的に変化を与える。
バンカー他	<ul style="list-style-type: none"> ・砂の交換や排水パイプの敷設等により、バンカーの排水性を向上させる。 ・ウォーターハザードの浚渫と周辺の景観管理を実施する。 ・樹木の生育環境を整え、樹木景観を整備する。 ・裸地の補修を行い、また、不要なゴムマットは撤去する。 ・INコース側のアプローチエリアの改善を実施する。 ・ヤードエッジを再測定し、ローカルルールを見直す。

③若洲ゴルフリンクスの今後の在り方

上記を踏まえた上で、コースのクオリティをさらに高めるために、グリーン全面改造、樹木設計見直し、カート道・コースデザイン変更の3点についても提案します。

グリーン 全面改造	<ul style="list-style-type: none"> ・練習グリーンを含め20面を対象とする。初年度に臨時グリーン(350~400㎡)を造成後、6Hずつ4年計画で行い、利用者への便宜を図る。 ・芝の管理技術の進歩により、本グリーンは、800~850㎡の面積で運用が可能。 ・アンジュレーションはホール毎に特徴を表現する。 ・芝の理想的な生育環境を実現するため、床砂の検査、分析を行ったうえで仕様を決定する。
樹木設計見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・間引き伐採により、樹木の生育環境の向上を図る。 ・追加植栽により、戦略性や美観の向上を図る。 ・安全性確保のための手段としての防球用植栽も検討する。
カート道・コース デザイン変更	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤沈下に伴う形状変更へ対処し、排水性の向上を図る。 ・安全性の確保(ティー位置・高さの変更。防球ネット工事含む。) ・乗用カート走行を視野に入れた道幅の拡幅と、カート道デザインの再検証。 ・ゴルフギアの進化へ適合させ、戦略性・美観を向上する。名物ホールの設定。 ・No. 18の広場にパッティンググリーンを新設する。

(3) 若洲海浜公園の特性を踏まえ、海釣り施設、関連園地、ヨット訓練所を適正に維持管理するための基本方針について記載してください。

①施設の維持管理の基本方針

施設維持管理の目的は、施設や設備の機能(性能も含む)を十分に活用発揮させることにあります。そのため、各種法令および東京都の仕様書や基準等を遵守するとともに、時間とともに機能が劣化していく状況を捉え、それを防止し、劣化、損傷が大きくなる前に補修して「耐力の復元」、「機能の回復」、「美観の向上」を図ります。

◆予防保全と応急処置

個々の施設機能を十分発揮できるようにするために、個々の施設に対して修繕計画を作成するとともに、利用頻度、立地条件、管理方針等を考慮し、「安全性の確認」、「機能性の確認」、「快適性の確認」の三つの観点から、絶えず施設の巡回点検・測定をし、記録する一連の作業を実施します。

- ・簡易な補修については、手持ちの資材や労力で即座に修繕します。
- ・その他の補修については仮修繕や立入禁止その他必要な応急処置を施し、補修方法等を検討します。
- ・大規模な補修については、改修に向けて東京都に方法の提案を行います。
- ・利用上支障がある場合(例えば護岸際の陥没や蜂の巣の存在等)については、ハザードマップに整理し、ホームページや看板を駆使し、利用者に対して事前に周知を行います。
- ・巡回点検・測定、応急処置の結果は、管理日誌等に記載し、全スタッフが情報の共有化を図ります。

◆施設毎の特性を踏まえた維持管理

若洲海浜公園は、埋立地に整備され海域に隣接した立地に建設されており、常時潮風の吹く気象条件下にあります。このことから、特に潮害や強風による施設の劣化、損傷や、地盤沈下による施設破損等に注意するとともに、施設毎の特性を踏まえた点検確認を行い、適切な維持管理を実施します。

海釣り施設	「利用者の安全性に配慮した上で、適切な場所を選定し開放することができる。」とした多目的使用の方針に基づいて、既存の防波堤を海釣り施設として使用しているため、転落防止柵や救命浮輪等の安全施設のネジの緩み、腐食、破損等の点検を確実に実施するほか、釣り可能な範囲の周知、釣り方法等不適正利用が行われぬよう指導にあたる等、安全確保を最優先に維持管理を実施します。
関連園地	全身で海風浴を楽しみながら、海辺景観に浸れるように配置された施設の維持管理と季節感のある植栽等を生かした魅力ある植栽管理に配慮し、利用上の安全確保の他、安心してくつろげる空間の確保にも注意して維持管理します。
ヨット訓練所	護岸については、護岸背面の舗装や地面に亀裂や陥没が生じていないか、点検を実施します。不具合を発見した場合は、速やかに応急的な安全措置を講じます。また浮棧橋は、航跡波の影響等により特に連結部の損傷が発生し易い施設であるため、定期的な保守点検を行うとともに、必要に応じ部品交換を実施します。いずれの場合も施設が損傷した場合は、東京都との連携を図って対応します。

②環境や福祉に配置した維持管理

当グループは、環境に配慮した維持管理を目指して、リデュース・リユース・リサイクルを徹底して行います。例えば、維持管理作業から発生する刈草や剪定枝葉のリサイクルや、海浜特有の流木の多様な活用等を行います。また、車椅子通行に支障とならないような樹木管理や段差解消の工夫等ユニバーサルデザインに配慮した維持管理を行い、誰もが安心して快適に利用できる公園とします。

- (4) 若洲海浜公園を適正に維持管理するためには、東京都と連携を密にした上で、業務の内容を絶えずチェックする必要があります。維持管理業務を着実に遂行するための東京都との連携・協力・検査体制及び指定管理者による業務の指導・監督・検査体制について記載してください。

グループメンバーの埠頭公社は、東京都の委託を受け、これまで数多くの海上公園についてそれぞれの特性に応じて維持管理を行ってきており、これらの実施経験から、東京都等の検査を受ける体制や外注業務に関する指導体制を確立してきました。当グループはこのような体制を活かし、今後指定管理者として以下のように着実に業務を遂行していきます。

①東京都との連携・協力・検査体制

維持管理業務は、管理運営方針や仕様に基づき、指定管理者が責任をもって行うべきものと考えますが、東京都との十分な連携とお互いの協力関係を確立した上で、業務の中で得られる利用者要望や試行した管理技術、最新の技術情報等は、報告会や現地視察等の形で適宜、東京都にフィードバックするしくみを整えます。

特に、ヨット訓練所においては、東京都からの委託金の支払が生じるため、毎月の業務執行状況や年度末の履行状況等については、以下により円滑に確認、検査を受ける体制を整え、業務を適切に進行管理していきます。

- ◆当グループは、東京都からの確認・検査を受けるにあたり、東京都が定める監督基準や出来形管理基準等の規定を準用して受検してきた実績経験があり、規定に基づいた速やかな検査資料の提出等受検を円滑に進めることが可能です。
- ◆日頃から資料や画像等をデジタルデータ化して使いやすく整理し、受検時にも分かりやすい資料づくりを行います。
- ◆受検に際しては、埠頭公社職員による事前の自主検査を徹底し、円滑な確認・検査の準備体制を整えます。

一方、ゴルフ場や関連緑地においては、利用料金収入で事業経費を賄っていく「利用料金制度」を採用しているため、日々の業務執行状況や毎月の履行状況等については、当グループ職員による自主検査により進行管理を徹底します。なお、東京都から履行確認の要請があった場合には、上記により、円滑に確認、検査を受ける体制を整え、業務を適切に進行管理して行きます。

②業務の指導・監督・検査体制

外部委託業務については、東京都の施工要領や監督基準を準用して規定した埠頭公社の施工要領に基づいた業務の指導監督を行い、具体的には以下により業務内容をチェックして適切な管理水準を維持していきます。

- ◆業務が確実に履行されるよう綿密な事前協議や、仕様に基づく細部にわたる指示等指導・監督を徹底します。
- ◆当グループ内に造園・土木施工管理技士、造園技能士、芝草管理技術者等の資格をもつ職員がおり、適切な指導監督を行う体制が整っています。
- ◆業務の経過状況については、担当の監督員が確認をし、履行完了については、監督員とは別の所属の者を検査員として指定して検査を行います。
- ◆検査員・監督員については、専門研修を行う等検査・監督能力の維持向上を図ります。

(5) 都民や東京都からの修繕等の要望に対してどのように対応するか、指定管理者としての考え方や対応姿勢について、経費支出の考え方を含めて記載してください。

①修繕や改良の要望への対応体制

東京都や都民からの修繕等の要望については、速やかな対応が必要と考えます。このため、当グループでは、品質管理グループを通じて都民からの要望を把握し、その情報を東京都と共有し、迅速で具体的な協議を行う体制を構築します。具体的には、指定管理者として作成・提出する年間作業実施計画に各種要望を織り込み、予防保全を基本として維持管理を計画的かつ効率的に実施します。また、照明灯等の取り換えは、プレイダウン方式を採用し、日常管理において迅速に対処します。

特に、安全に係る修繕等の要望については100%応えることを施設維持の基本と考え、迅速な対応に努めます。迅速な対応のためにホームドクター的な業者を確保し、小規模緊急な施設補修の要望に応えます。なお、不具合の状況や対応内容等修繕の履歴はデータ化し、情報の共有化と将来の修繕計画や東京都の改修計画立案に役立てます。

②優先度を考慮した対応

限られた経費の中で多くの要望に的確に対応していくため、東京都や都民からの要望は、優先度を設定して対応します。

安全・安心に関わる事項については、第一優先とし、その他機能・利便性・美観等に関わる要望については、公園のコンセプトや運営の視点から、要望の重要度・施設の利用頻度・利用形態等を整理して対応の必要性や緊急性を判断し、優先順位をつけ東京都と協議し、迅速かつ的確に対応します。

③ゴルフ場における対応体制

ゴルフリンクスを若洲海浜公園管理運営方針に定められている管理水準に維持し、さらに、利用者の便宜を最大限考慮したうえで、安全性を向上させるための改修や、顧客満足度を高めるための改善について、積極的に取組みます。

◆想定される取組みの事例

- ・自然災害による被害や地盤沈下による陥没、防球ネットの損傷等、安全性確保に関わる問題は、東京都と協議・予算稟議を経ないと実行できない状況であっても、即時に対応することが必要と判断した場合には、自主的に対処します。
- ・グリーン、フェアウェイの状態の悪化や、バンカー、ウォーターハザード周りの排水不良、倒木等、コースのクオリティが維持できずプレー上に支障が出ると判断した場合は、自主的に即時対応し、管理水準を維持します。
- ・現状の形態を変更せざるをえない場合には、東京都と協議のうえ優先順位を付け、予算を含めた修繕計画の提案をします。なお、安全性の確保のため、即時に対応することが必要と判断した場合には暫定的措置を講じ、東京都との連携を図ります。

④経費支出の考え方

1件当たり30万円未満の修繕については、これまでの維持管理の実績に基づき適切に経費を計上していますが、修繕経費枠を越えたものでも安全に関する要望等緊急性が高いものは、速やかに対応する必要があります。このような場合は東京都と協議し、委託費等の流用により、できるだけ迅速に対処します。

1件当たり30万円以上の施設補修費についても、前記の優先度を考慮した考え方により、東京都と優先順位を踏まえた調整を行い迅速に対処します。

すべての要望に応えることは困難だと考えますが、施設補修費予算枠を超える要望については、優先度を考慮し委託費等の流用を検討します。

- (6) 日々起こりうる事故の予防及び事故が発生した場合の応急対応について、ゴルフ場やヨット訓練所などが特殊な環境にあり、若洲海浜公園が氷際に位置していることなどを踏まえ、指定管理者としての危機管理に係る具体的な取組及び体制を記載してください。併せて、地震等災害の発生時における対応についても記載してください。

①日々起こりうる事故の予防

事故を未然に防ぐためには、危険を事前に察知することが重要です。そのような心構えのもと、適正な公園利用がなされているか、施設が正常に機能しているかという視点で巡回や点検、監視を行います。また、そのデータを利用してハザードマップを作成し、管理スタッフ全員で情報を共有化するとともに状況に応じて利用者への注意を促します。

②各施設の具体的な取組み

若洲海浜公園は、異なった施設で構成されているため、その特性を十分理解したうえで、当グループは、以下のように危機管理対策を行います。特に水域と水際に隣接する危機管理の対策については、これまでの経験を活かすとともに連携力をより一層強化していきます。

ゴルフリンクス	予防管理対策	天候 (落雷、豪雨、強風)	降雨情報システムを活用し、スタッフへの情報周知及び来場者への天気概要の案内や携帯無線機(キャディー全員)による避難誘導等の指示を徹底します。
		打球事故	キャディー教育の徹底により打ち込み防止を図るほか、コースレイアウト変更等を検討し、東京都へ提案していきます。
		お客様の健康管理への支援	健康管理コーナー(血圧計・体温計)の設置、夏場におけるスポーツ飲料の常備(カート)や日傘サービスを実施します。
	緊急事故対策		急病人に対応するため、医務室を設置するほか、医療機具を積載したマーシャルカートの配備と上級救命技能を有するスタッフの配置を行います。
	その他の対策	暴力団排除	従前から取り組んでいる警察及び顧問弁護士等とのネットワークを更に強化し、策定済対応マニュアルにより排除します。
個人情報等漏洩防止対策		個人情報保護法に基づき、スタッフへのコンピューターアクセスの許可制の導入等個人データの保護管理の徹底を行い、適切且つ厳重に管理します。	
ヨット訓練所	予防管理対策	ヨット訓練所海上交通ルール(海上衝突予防法、港則法等)を遵守するとともに、荒天時はヨット教室や大会利用に対して、早めの変更や中止を判断し、事故の予防を図ります。	
	緊急時事故対策	東京海上保安部、水上警察、臨港消防及び病院等と連携し、状況に応じた対応をいたします。	
海釣り施設	予防管理対策と緊急事故対策	日常の巡回・監視と注意喚起の他、ヨット教室や大会の際は、海側からの監視を実施するとともに、緊急時には海釣り施設から近いキャンプ場やゴルフ場売店内に緊急用電話を確保し、迅速な対応手段に努めます。	

③事故発生時の対応

- ・日常管理で起こりうるケガ、火災などへの対応は、現場と本社が連携を図り、添付補足資料 別図1のとおり迅速に行います。
- ・重大な機能障害を起こす場合の事故対応は、体制を現場組織から本社(グループ代表者)組織に変更し、都や関係機関と連携を図り、添付補足資料 別図2のとおり迅速に行います。
- ・その際、各問合せが殺到し、混乱することが予想されます。このため、現場責任者が情報を一元化し、伝達手段としての通信回線を確保し、迅速かつ適切に処理します。

④地震等の自然災害発生時の対応

- ・地震等災害時には、公社で整備した「災害対策要綱」「災害対策マニュアル」等の規程に従い、災害対策本部を本社に設置し、災害の規模等の状況に応じた第1次から4次非常配備体制をしいて、東京都と連携して対応します。
- ・高波・高潮・台風等に関する災害関連情報を都を通じて速やかに入手し、公園利用者に迅速に伝え、必要な場合は避難誘導を行います。
- ・危険箇所については、2次災害に繋がらないよう立入規制を行う等迅速に処置します。
- ・公園スタッフは、簡易トイレや被災情報掲示板の応急設置等のノウハウを身につけているため、災害時に迅速に対応いたします。また、発電機と燃料を非常時用として常備しております。
- ・被災状況や対応経過などは、東京都に迅速かつ的確に報告します。

【4 維持管理等計画 (6) 添付補足資料】

◆事故発生時の対応

